

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: エネルギー環境課
 担当名: 創エネ推進担当/省エネ推進担当
 内線: 3004 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B16	燃料電池自動車等普及推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	次世代自動車普及促進事業費	
事業期間	平成27年度～	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律 地球温暖化対策推進条例		宣言項目	10 新たなエネルギー社会の構築			
					分野施策	051142 環境に優しい社会づくり			
1 事業概要				5 事業説明					
運輸部門において水素エネルギーの普及拡大と地球温暖化対策の推進を図るために、必要な施策を進める。 契約差金が発生したことに伴う減 (3) F C V維持管理費 Δ 1,378千円 (7) 燃料電池バス試験走行 Δ 1,254千円 執行節減に伴う減 (2) F C V導入補助 Δ 3千円 (4) 県庁S H S維持管理費 Δ 240千円 (5) 商用水素ステーション整備費補助 Δ 6千円				(1) 事業内容 ア F C V普及啓発 多数の来場者が見込める環境フェア等を主催する市町村への貸出 960千円 イ F C V導入補助 購入者への補助 60,027千円→ 60,024千円 ウ F C V維持管理費 公用車F C V (2台)の維持管理 3,279千円→ 1,901千円 エ 県庁S H S維持管理費 県庁スマート水素ステーションの維持管理 18,339千円→ 18,099千円 オ 水素ステーション整備費補助 商用水素ステーションの整備費補助 100,050千円→ 100,044千円 カ 燃料電池バス試験走行 県内への導入を目指し燃料電池バスを試験走行 3,024千円→ 1,770千円 (2) 事業計画 平成27年度 公用車としてF C V2台を導入、県庁S H Sの整備、F C V導入補助制度の創設 平成28年度 県庁S H Sの維持管理 (8年間)、商用水素ステーション補助制度の創設 平成29年度 燃料電池バスや燃料電池トラックの導入に向けた取組の開始 平成30年度 商用水素ステーションの整備推進 平成31～32年度 ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックを契機とした水素エネルギーの活用 (3) 事業効果 ア 県内全域に燃料電池自動車の普及を積極的に進めることによるCO2排出量の削減 イ F C V・バス・トラック等が県内を走行することにより、水素エネルギーの利活用を県民に広く周知 (4) 補正予算の概要 ア 契約差金が発生したことに伴う減額 Δ 2,632千円 イ 執行節減に伴う減額 Δ 249千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税 (包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細目) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.5人=33,250千円									
				財 源 内 訳					
予算額		諸 収 入						一般財源	補正後の 予算額
決定額	Δ2,881	1,908						Δ4,789	182,798
現計額	185,679							185,679	